



今回は、スーパーハイスクールセッションの報告します。

◇ スーパーハイスクールセッション (SSS) に参加しました！

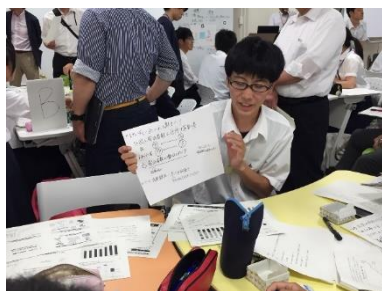
日時： 令和元年6月16日(日)、7月7日(日)

場所： 岐阜大学 アカデミック・コア

対象： 県内スーパーハイスクールの代表生徒

テーマ： 岐阜県の活性化 ～「清流の国ぎふ」をより豊かにするため、地域の課題を発見して解決策を提案しよう～

本校からは2年生の4名がSSSに参加しました。初日の午前中には、岐阜県里山振興課長の方から「データから見た岐阜県の特徴と課題」というテーマで県政説明をしていただきました。それらの情報を活用しながら、岐阜県を活性化するためにはどうしたらよいか、各グループで意見を出し合いながら、話し合いを行いました。



◇ 参加した生徒の感想

○自己紹介の中で理数科や環境科学科出身だという話を聞いたりすると、ふだん普通科にしかなじみない自分には新鮮に感じられた。また、その違いから自分は普通科を選択して進学することを選択したのだとしみじみと感じて、漫然と日々を送りがちな自分ははっとした。

討論の中でも6人それぞれの意見と、意見の出し方があって面白かった。その中でも提示された新しい話題に本当にすごいと思うくらい素早く自分の考えを述べる子がいて、今回僕はその子にすごく感化されたと思う。僕自身は新しいことに素早く反応することに苦手意識があって、じっくり考えて初めて自分の言葉をお話すると思っている。一方で一つの考えに執着しがちという性分でもある。

しかし今回その子と自分の存在の違いで、自分の役割意識を持てたし、いろいろな見方を提供してもらった気がする。

○今回の開催地は岐阜大学ということで、最初は大学を見るついでに参加しようかな…ぐらいの気持ちだったのだが、違う高校に通い、違う環境下に置かれている同級生、先輩や後輩の意見を聞いて討論をするのはとても刺激的で、あっという間に時間が過ぎていった。

また活動自体も、自分たちが今取り組んでいるSGHの活動に通ずるものがあり、とても大変で興味深いものであったと思う。

自分たちが参加するのは4回のうち2回であるが、あと1回この環境に身を置いて普段出来ないような体験をさせてもらおうと共に、自分の岐阜に対する考えを深めていけたらいいと思う。